

イジナの本

其の二

温泉に行くの巻



カイとイツナは
温泉宿にやってきた

少し観光した後
温泉に浸かり
夕食をとっていた

楽しいなあ カイ
料理は美味しいし

でも温泉と一緒に
入れなかったのは
残念だったな

それは仕方
ないだろう

男湯と女湯は
別なんだから
それより…

少し飲みすぎ
なんじゃないか

そんなことは
ないぞ

我はまだ
飲み足りない
くらいだ



またか?
風呂なら
さつき...

いいから行くぞ
準備しろカイ



まあお前がそう
言うなら酒はもう
やめておくか

我は風呂に
行きたい

それなら
風呂に行くぞ



ずいぶん上機嫌だな
そんなに温泉が
気に入ったのか?

…!? あれ

おいイツナ
さつきと違う
通路だけど
大丈夫なのか？

我に任せておけ
こっちでいいんだ
もう着いたぞ

ここで
間違いない

我はここに
入りに来たんだ
だからな

なあ 大浴場は
向こうだって
書いてあるぞ

貸切風呂…

なんでお前
こんなところ
知ってるんだ？

貸切風呂

ふふっ さつき
風呂に行った
帰りに小耳に
挟んだんだ



恋人らしき
二人が大層
楽しそうに

ここから出て
来たのを見てな

我もお前と
ここに入ろうと
思っていたんだ



ここなら
我らだけだから
気兼ねなく

温泉にいつしよに
入れるだろう

さっさと脱いで
夫婦水入らずで
楽しむとしようぞ

何してる
早く来ないか

風邪をひいて
しまうぞ

こらカイ
我らだけしか
いないんだ

そんなに離れて
入るやつがあるか

お……おう

まさかお前
照れているのか

家でもたまに
一緒に入るだろう

そ……そんな
じゃない

ぽんぽん

知っているか

ここは疲れに
よく効くらしい
最近忙しそうだし
良いと思ってな

イツナ…

お前…わざわざ
俺のために

ちゅっ

ところでこれは
どうしたんだ？

温泉の効能でも
出てしまったのか

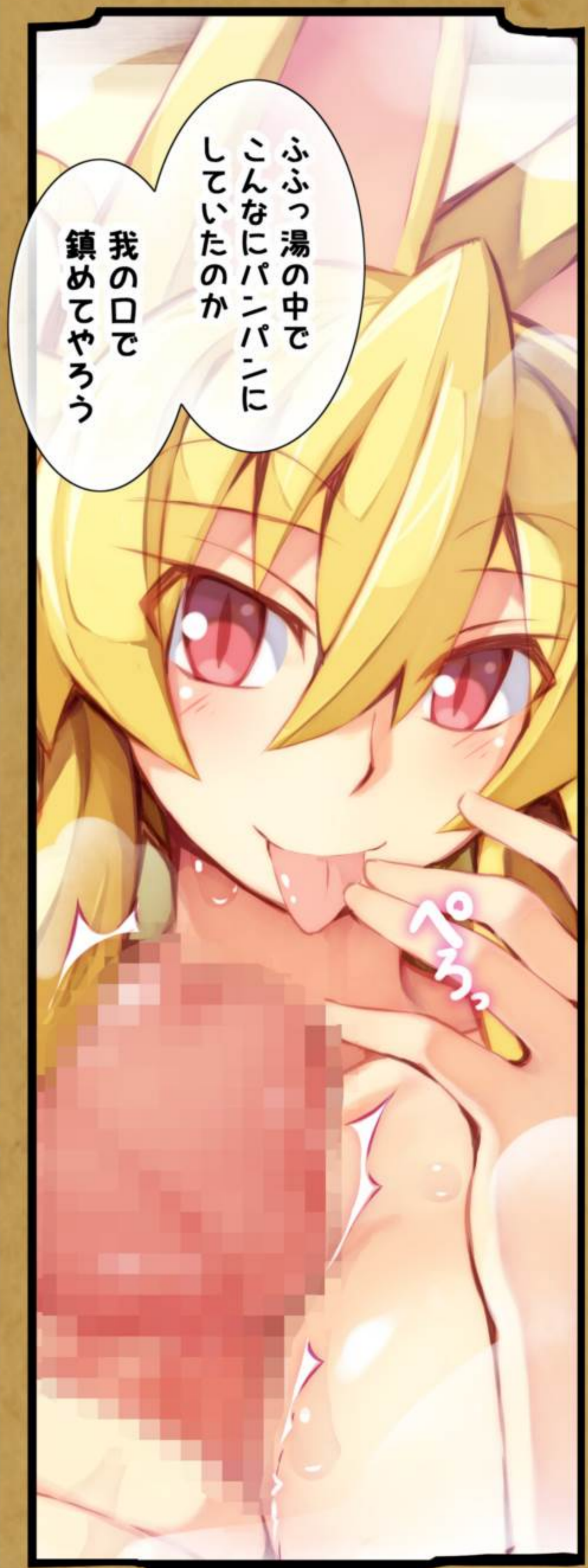
いや…その
これはな

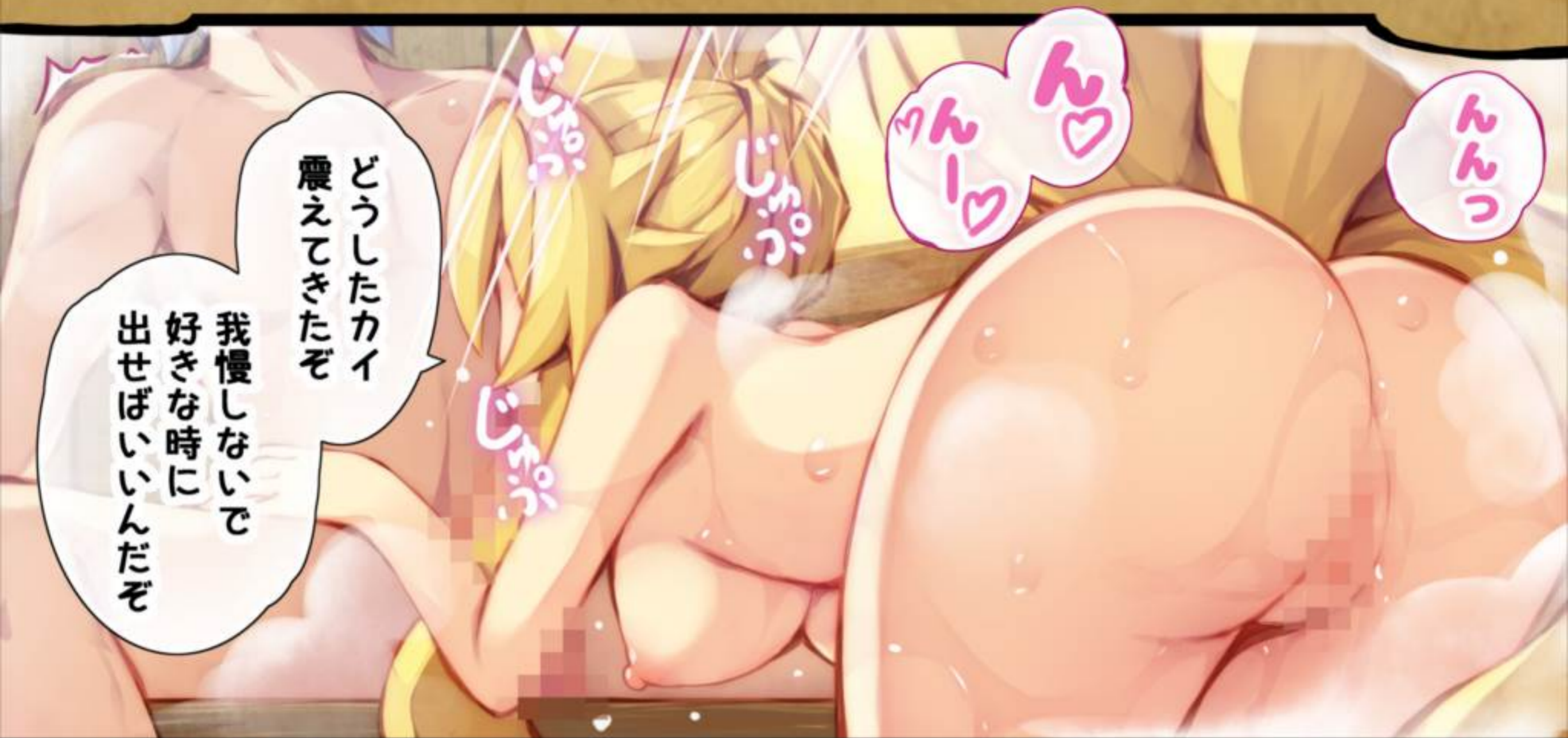
裸の妻を目の前に
すればこうなるのも
自然なことだ

ぱちゅ

それに我のせいで
こうなったなら
むしろ嬉しい







んっ

んっ

んっ

じゅっ

じゅっ

じゅっ

どうしたカイ
震えてきたぞ

我慢しないで
好きな時に
出せばいいんだぞ



ふーっ

ふーっ

びゅ

びゅ



我慢を続けるなら
耐えられないくらい
可愛がってやるか

ぺろ

ぺろ

んっ

んっ

ぢゅる

ぢゅる

んっ





はあ

はあ

我もこんなにな
ってるんだ

今度はお前が
どうにかしてくれ

はあ



んっ♡

ぴ
ちゅ



あっ♡

んっ♡

ぬ
ちゅ

ぬ
ちゅ

はっ

はあ♡



んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

ひ
ん





これでは
大人しく温泉に
入れないだろう

だからこのまま
最後まで…な？

ああ出したのに
なんだか全然
治まらないんだ

はあ

くちゃ

はあ

はあ

くちゃ

ぐ

ぐ

すまんなカイよ
治まらなくて当然だ

今日の夕食は
特に精が付くという
料理を頼んだし

くちゅ

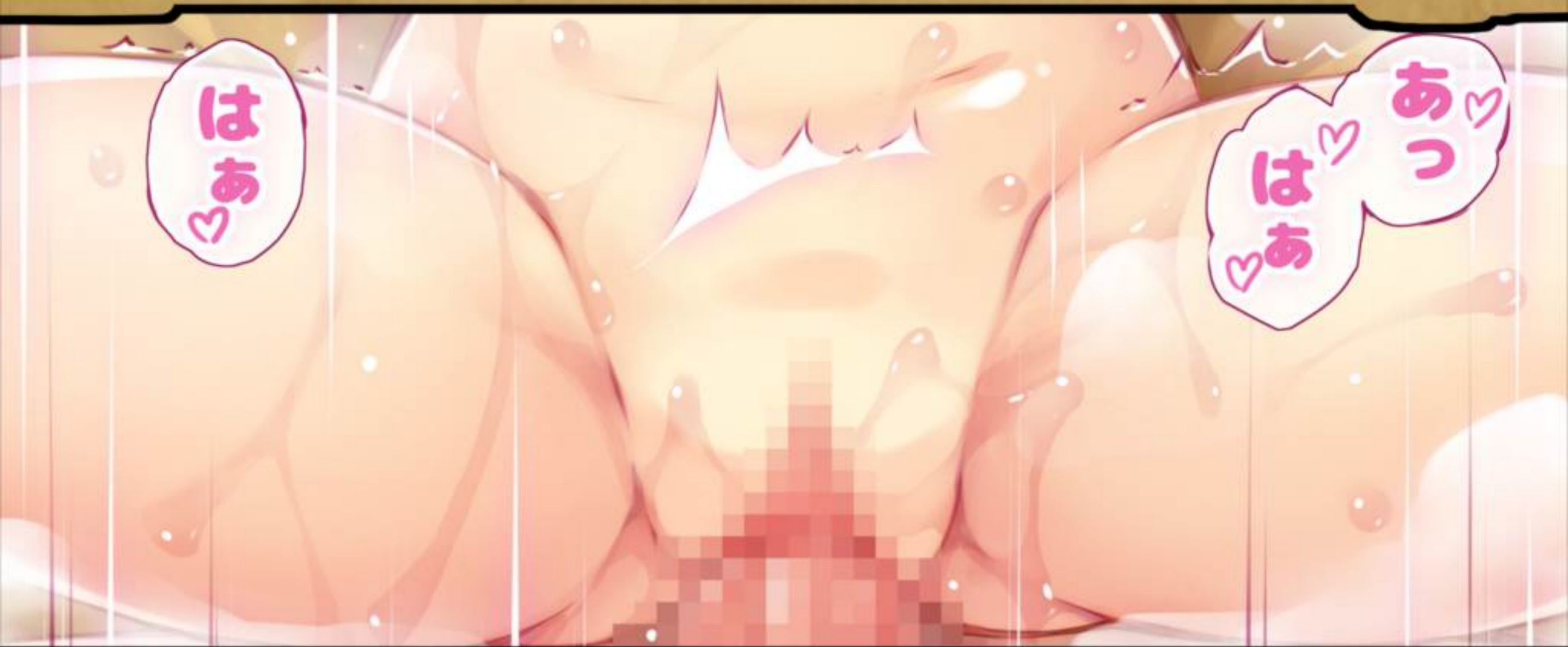
くちゅ

ぐぶ

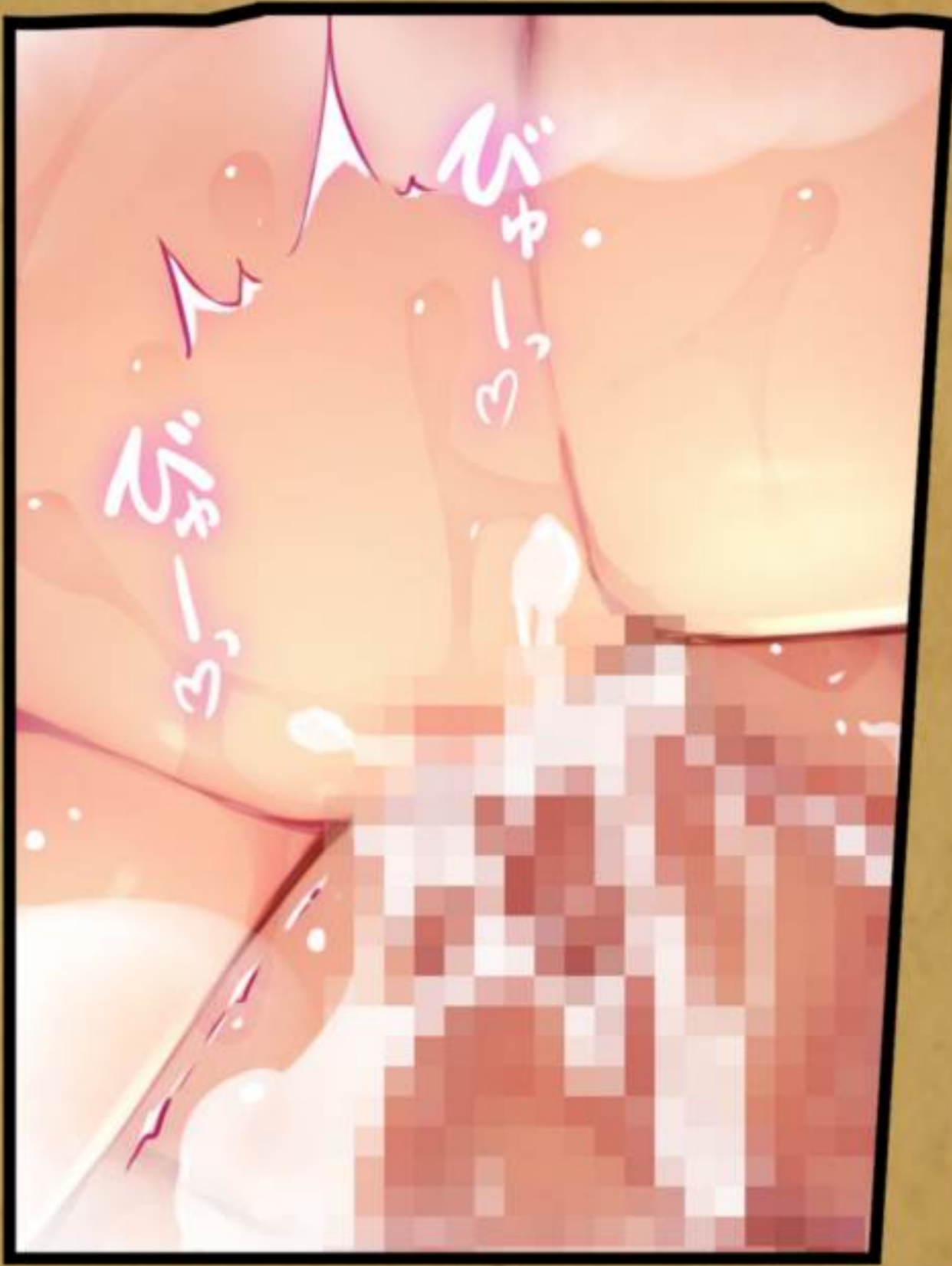
疲れに効く風呂の中でも
精力強化に効くという
温泉を選んだんだから…な！

♡ん♡っ♡♡

ずちゅん









よかったぞカイ
満足できたか？

いや…出しても
出しても全然
治まりそうにない

いっぞ
私の体で
満足いくまで
何度でも…



んっ

んっ

ぽん

ぽん

ぽん

びびり

びびり

あっ

んっ

んっ



んあ♡
あ♡
♡♡

どぶっ♡

びん

びん

びん



びん

びん

ふふっ…
この温泉は
本物だな

カイがまるで
獣のようだ

ずちっ

ずちっ





私も♡
もうっ♡

めん♡
ぢゅ♡

びゅ

あ♡
あ♡

びゅ

びゅ♡
びゅ♡



いやいや我は
五回でも六回でも
かわまないぞ



はぁん♡
はぁん♡
はぁん♡

はぁん♡

はぁん♡

はぁん♡



ど
どうした
大丈夫か?

カイ?
おいカイ?



はー♡

はー♡

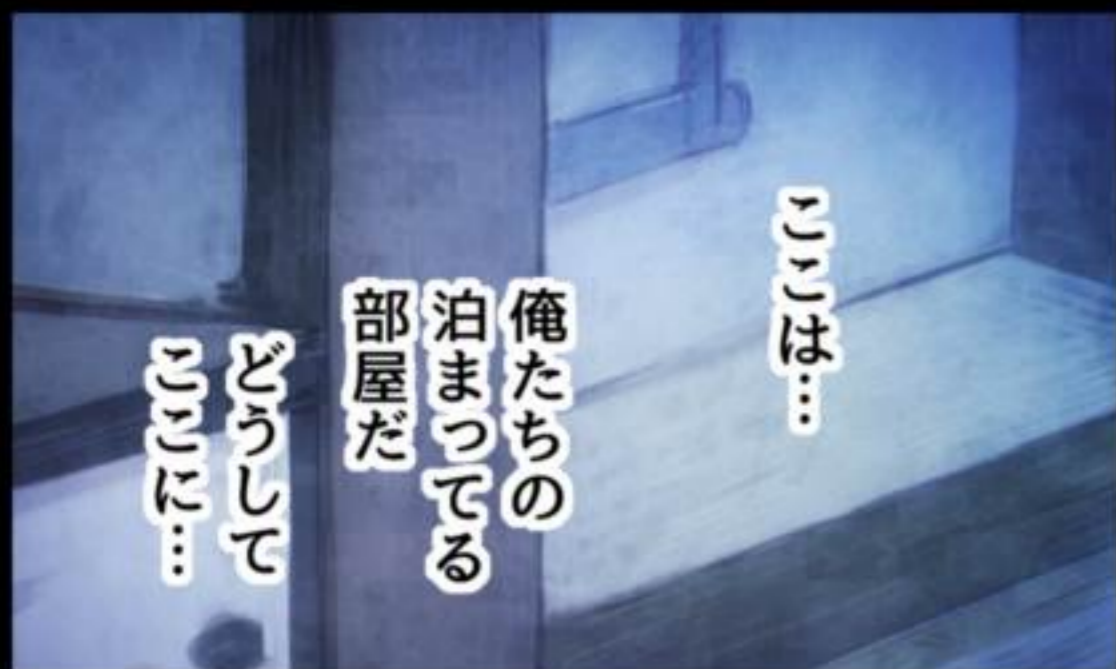
はー♡

どうするっ
このままもう一回
続けるか?



しっかりしろ
カイっ





んは...

俺たちの
泊まつてる
部屋だ

どうして
こうな...



ん...



良かった！
目が覚めたか
心配したぞ

覚えているか？
貸切風呂で
のぼせたんだ



風呂の途中で
異様に興奮したのは
覚えているけど
最後のほうは...

俺の体どこか
おかしくなった
のかな...

い...いやあ
その実はな...

イツナは料理や温泉
を使って仕組んだ
事を白状した



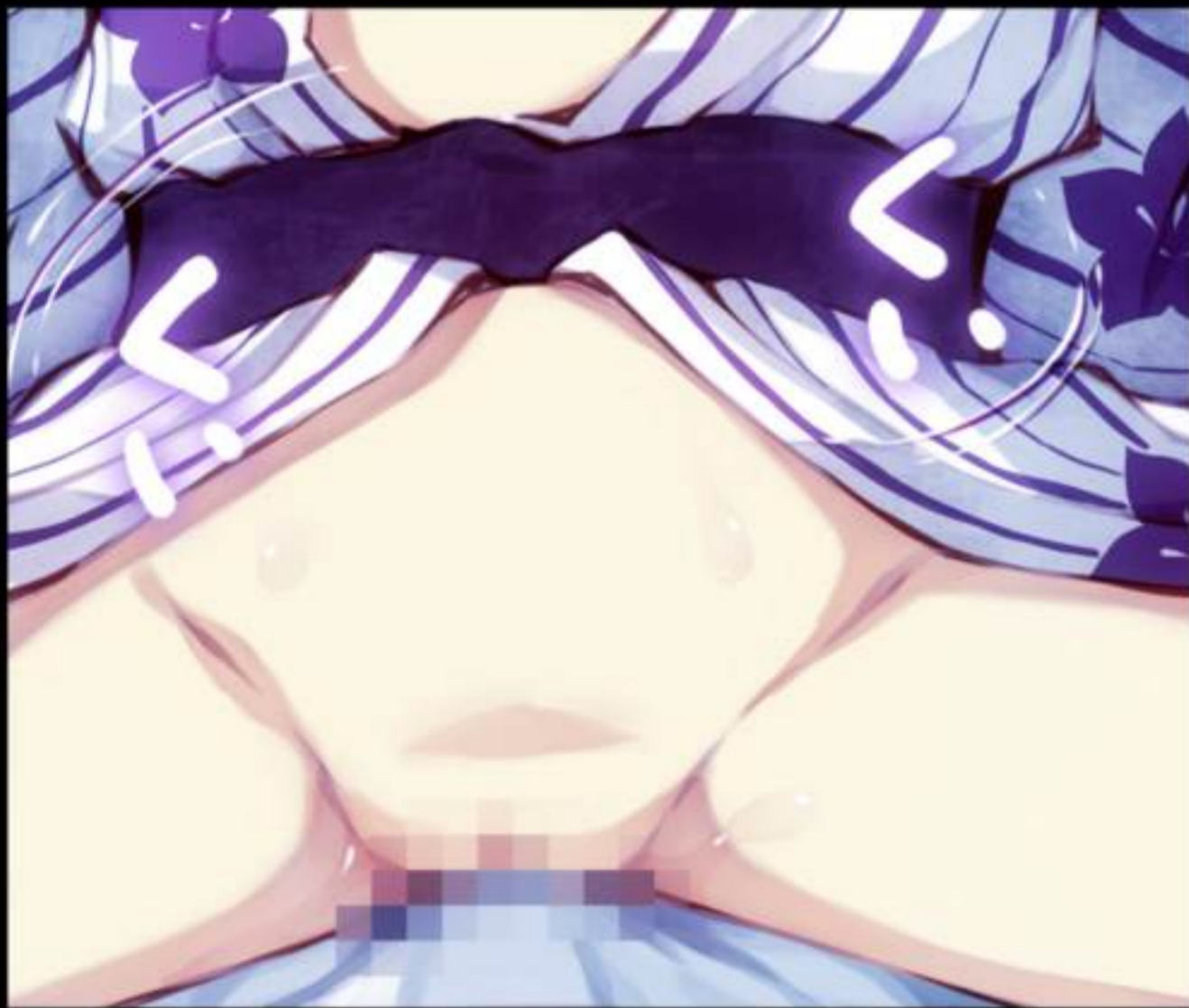
何でそんな…
本当におかしく
なったと思ったぞ

お前に元気に
なってもらおうと
思ったんだ

ついでに最近
回数も少ないし
そっちも強く
なればとな

少し効きすぎて
しまったが

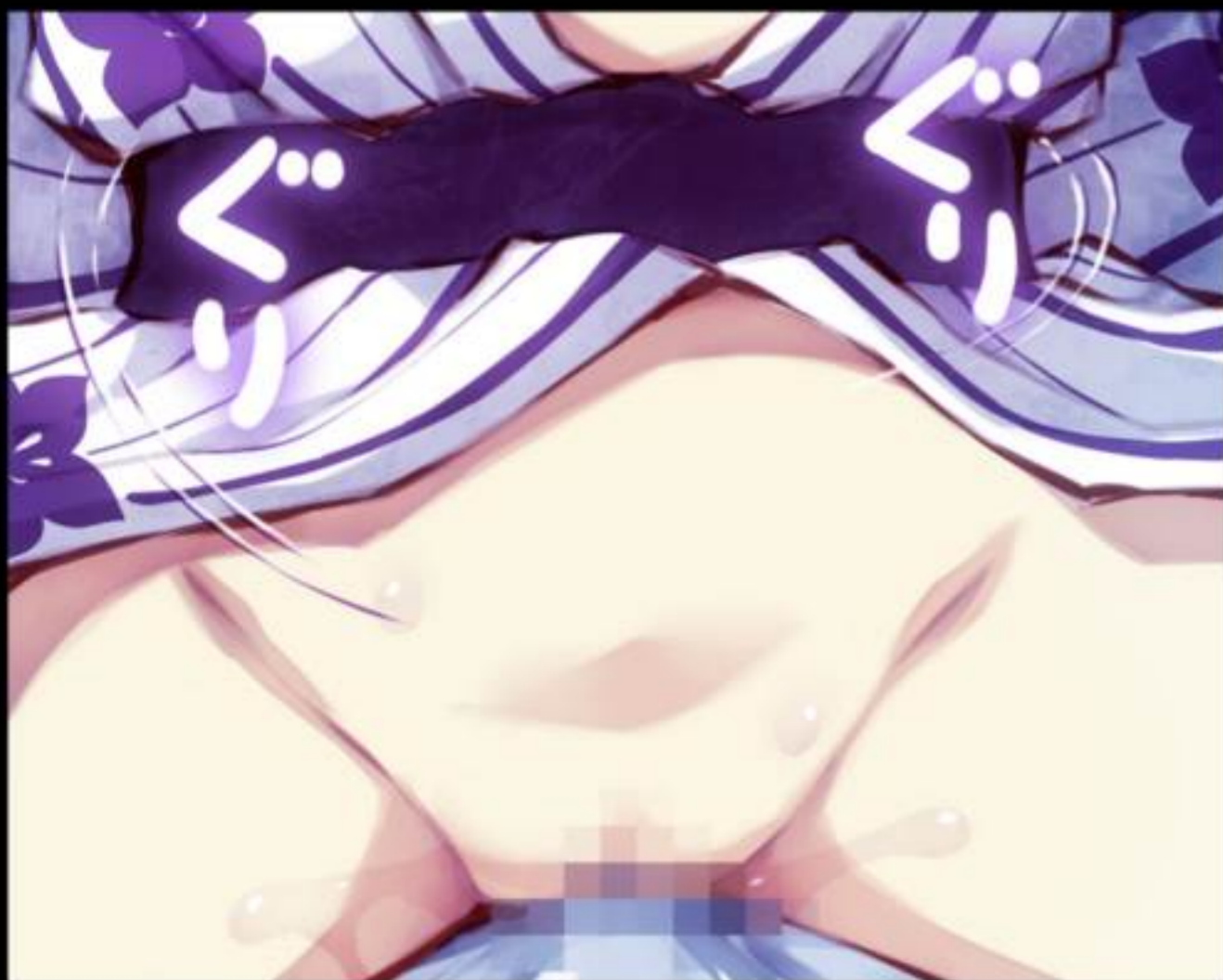
お…おう それは
すまなかつたな
忙しくて…



だから今夜は
たっぷり付き合って
もらうぞ

温泉の効果もまだ
出てるようだしな

えっ!?



おい イツナ
そのままするのか

お前がさっき
倒れたから

この姿に戻って
しまったんだ
仕方ないだろう

それにたまには
この姿でするのも
また一興だ

ぐぐ

んあ

ぐちゅん





どうしたカイ？
お前のほうからも
突き上げてくれ

その姿のお前を
相手に動くのは
なんだか躊躇ってな

大丈夫だ
見た目は小さいが
中身は我だぞ

ぬちゃ

ぬちゃ



それにされるが
ままとは夫として
少し情けないぞ





あーあー
あーあー
あーあー
あーあー
あーあー

あーあー
あーあー
あーあー
あーあー

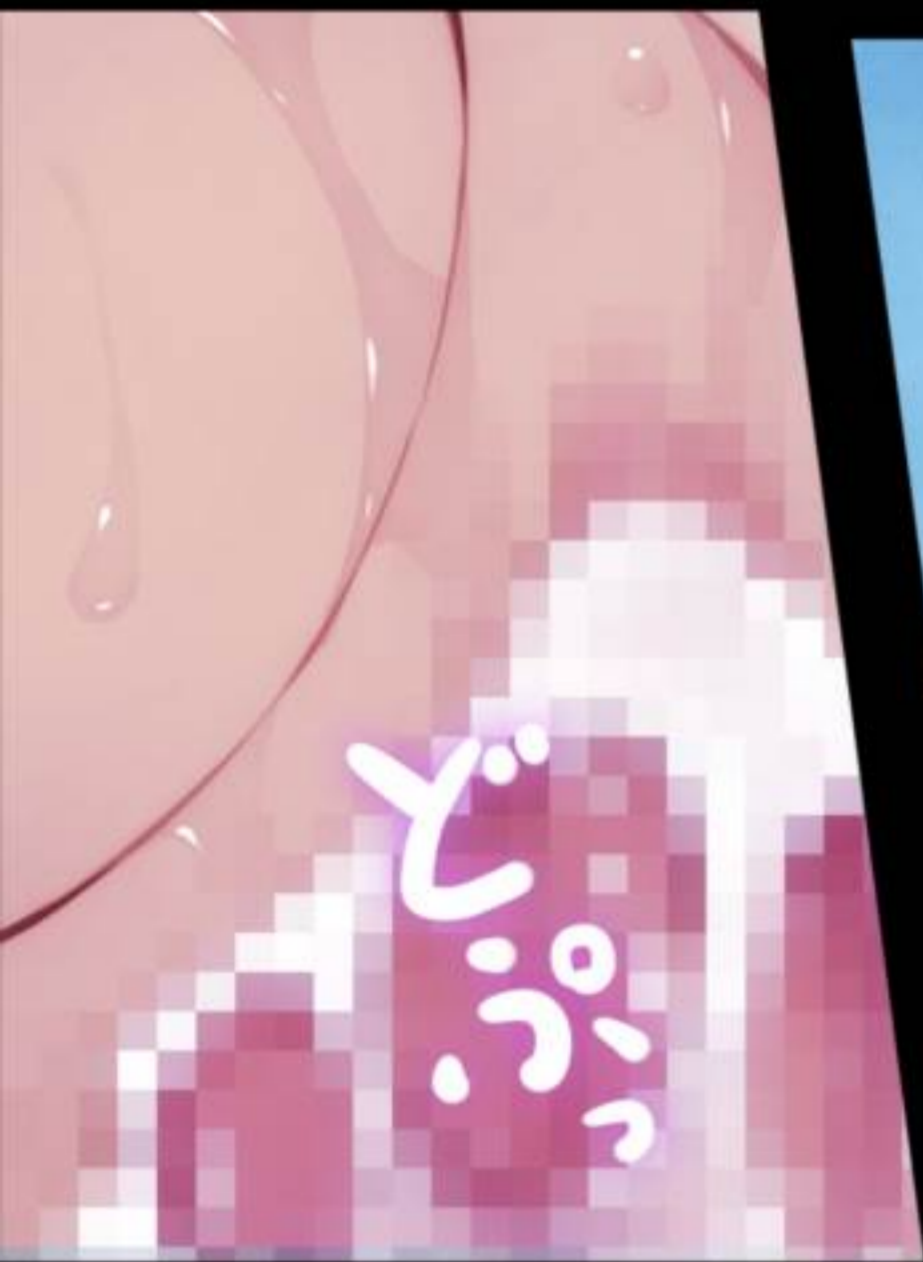
ぐんぐん
ぐんぐん
ぐんぐん

どろろ

どろろ
どろろ
どろろ
どろろ

どろろ

どろろ





この姿なら
気兼ねなく存分に
まぐわえるだろう



カイ…
こっちに
来てくれ



やはりこうしてお前の
下に収まっている
のが一番落ち着くな

ぽん



ん

ん

ん

ぎゅ

遠慮しないで
我が何度でも
気をやって
しまっほど目茶苦茶
にしてくれ

はあ

はあ



ふ

ふ







びび

あぁ

あは

びび

ぐちゃ

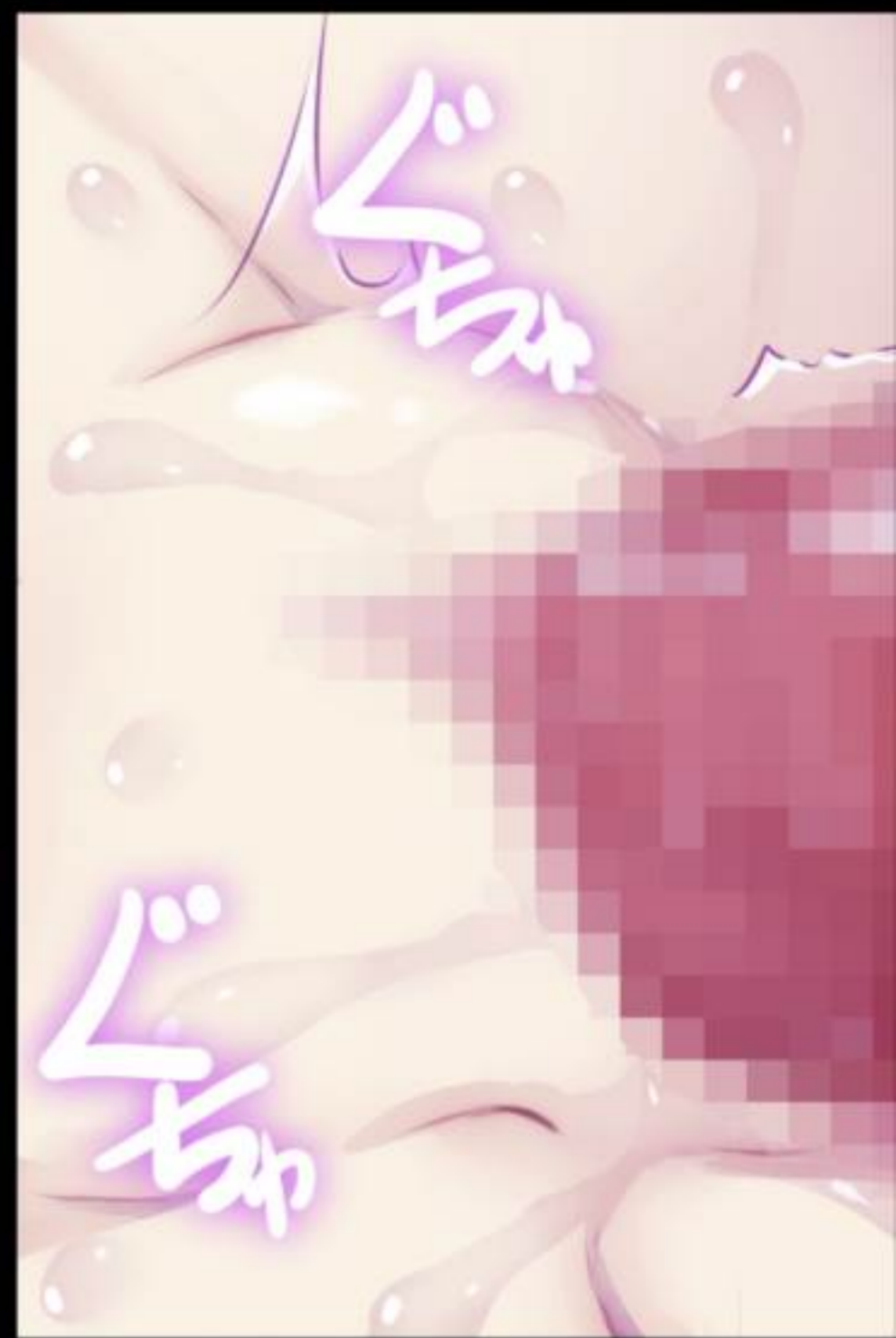
あぁ
あぁ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

あは





んんん

んんん

あぁあぁあぁ

びゅー

びゅー

びゅー

びゅー

びゅるん

びゅるん



ぜえ…ぜえ…
もう出ないぞ
俺は…

我も…
もう動けん
我も満足だ

お互い汗だくで
ひどいな

もう一回
風呂に行くか

お…お前また
何か…

何も無い
汗を流すだけだ
心配するな

今日はまだ一泊目で
旅行ははじまった
ばかりだからな

おしまい





